

2F

4F

学生寮というよりシェアハウス!? 寮室＋共用ラウンジ

2階と3階にはそれぞれ2つずつ、4階には1つずつラウンジとキッチンがあります。ラウンジの机は大きいので、模型を作る課題をすることもあります。



国際学生寮には、ホテルのシングルルームタイプの寮室が2階と3階に18戸ずつ、女性限定の4階に14戸設けられています。約8.7畳と一人暮らしには十分な広さの寮室には、トイレ付きのユニットバスや冷蔵庫も個別に備わっていて、プライベートな空間が確保されています。そして寮室に挟まれるように設置されているのが、国際学生寮の核といえる共用ラウンジおよびキッチン。廊下を設けず、寮室とラウンジを隣接させることで寮生同士が顔を合わせやすくなり、コミュニケーションを密にとれるようにするのがレイアウトの狙いです。RAの川上さんは「部屋を出れば誰かがいて会話できるのが楽しい。課題も一人でやるより皆でするほうがモチベーションになる」とその魅力を語ります。

なお国際学生寮では、エントランスのほか各階フロアや個室へ入退出するのにも、カードキーによる認証が必要です。防犯カメラの設置や寮監の巡回警備と併せ、寮生の安全面に配慮されています。

料理ができるのは夜11時までですが、冷蔵庫やレンジはいつでも使えます。



テレビ前のソファでくつろぐのが好きなのですが、テレビ好きの寮生が少ないのが淋しいですね(笑)。



国際学生寮は、各々が1～4年の入寮期間を決めて契約・入寮します。ライティングデスクや椅子、本棚、ベッドなどの生活必需品が備え付けで設置されており、ベッド下には、収納スペースもたっぷり確保されています。天井吊り下げ式の室内物干しも、それぞれの部屋に備わっています。

海外留学生の声

ラウンジに自然と皆が集まってきて、ワイワイと話せるのが楽しい。寮生活を満喫しています。



寮のみんなとカラオケに行ったのが楽しかったです。寮監さん、寮母さんも優しくしてくれます。



ゴミの分別など最初はとまどいましたが、RAが親切に教えてくれました。この寮でよかった!

寮監のまなざし

“若者たちとの交流を、とても楽しみにしていました。”
素晴らしい学生に囲まれ充実した日々を送っています。



寮監 古屋 法政さん

「寮生は十人十色。国籍も価値観もさまざまな子がありますが、寮監として、誰にでも同じように声を掛けるよう意識しています」。

寮生の生活をサポートし、快適に暮らせるよう気を配るのが寮監、寮母の仕事です。国際学生寮に住み込みその職務をこなすのは、古屋夫妻。TV業界で長らくディレクターやプロデューサー職を務め、退職した後は刺身職人をしていたという異色の経歴をもつ寮監の法政さんは、英語も話せます。「働きながら英会話を学び直しています。充実した日々を送っています」とこやかに話す法政さんの人物評は、あるRA曰く「不思議でおもしろい人」。寮母のケオファさんとともに寮生から慕われる存在です。職人技を活かして魚料理をふるまい、RAの労をねぎらったこともあるそうですが、寮の規律を統制するのも仕事。寮生へ注意をすることもままあるといいます。ただ「何かを注意するときは、人によって差がないよう基準を明確にしています」と法政さん。寮生からの信頼の厚さも、頷けます。



寮母 古屋 ケオファさん

タイ生まれのケオファさんは「私たちにも同じ年頃の子どもがいるので、寮生は自分の子のように話すのが楽しい」と語ります。